

令和8年(2026年)2月10日

関係大学
関係機関 様

名古屋市立大学大学院人間文化研究科長
久保田 健市(公印省略)

教員の公募について(依頼)

このたび、本研究科では下記の要領で教員を公募いたします。

つきましては、この旨を関係学部・大学院等に広くお知らせくださいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 所属 : 人間文化研究科「都市社会と協働」分野(現代社会学科)
2. 職位 : 教授、准教授または講師1名
3. 専門分野 : 家族社会学
4. 担当科目
(教養教育) 社会学B
(学部専門) 家族社会学(家庭支援論)、データ解析法もしくは質的調査法、
社会調査実習1・2、基礎演習、専門演習1・2・3・4、卒業論文、
社会学史(オムニバス)、ESD科目(オムニバス)ほか
(大学院) 家族社会学研究A・B、現代社会論特講ほか
5. 応募資格 以下に挙げる要件を全て満たす者。
 - (1) 博士の学位を有する者。またはこれと同等の研究業績を有する者。
 - (2) 学内での各種業務および学生指導、研究科の枠を超えた共同研究や大学院生指導に意欲を有する者。
 - (3) 主に名古屋市を中心とした審議会などにおいて、専門的知見を社会に提供する活動に、積極的に取り組む意欲を有する者。
 - (4) 持続可能な社会の実現(sustainable development)という課題に関心があり、本学でのESD、SDGsに係る諸活動を推進していく意欲を有する者。
 - (5) 専門社会調査士資格を取得していることが望ましい。
6. 採用予定日 令和9年(2027年)4月1日
7. 応募期限 令和8年(2026年)4月7日(火)(必着)

8. 提出書類

(1) 履歴書（別紙様式による A4判）

最終学歴を証明する公的文書のコピーを添付すること

(2) 研究業績目録（別紙様式による A4判）

著書・論文などのうち主要なもの5点以内（修士論文は除外、博士論文は含めてもよい）に○印をつけること。記入に際しては記入要領にしたがうこと。

(3) 応募必要事項記入用紙（別紙様式による A4判）

(4) 研究業績目録で○印をつけた5点以内の著書・論文などの概要（様式自由、1点ごとにA4判1枚で日本語400字以内のものを作成すること）

(5) 研究業績目録で○印をつけた5点以内の著書・論文などの抜き刷りまたはそのコピー

(6) 本学での研究・教育・社会貢献・学内業務に対する抱負（A4判、様式自由・2000字程度）

＊上記(1)～(6)の書類一式と、(1)、(2)、(4)、(6)のWordファイル、(3)のExcelファイルを収めたUSBメモリまたはCD-Rを同封してください。

＊履歴書は、顔写真を所定の位置に貼り付け、本人押印欄に押印してください。

9. 提出先

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地

名古屋市立大学大学院人間文化研究科長 宛

（簡易書留で郵送、またはそれに類する方法で送り、封筒に「家族社会学教員応募関係書類」と朱書きすること）

10. 照会先

名古屋市立大学大学院人間文化研究科、照会はe-mailをお願いします。

(e-mail: recruit_sociology2026@hum.nagoya-cu.ac.jp)

11. その他

(1) 提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。提出された応募書類は、原則として返却しません（選考終了後に、適正に廃棄します）。
なお、応募書類等の返却を希望される場合は、返却希望の旨を明記の上、返信切手を貼った封筒を同封してください。

(2) 選考の最終過程では、対面での面接を実施します（面接時の旅費支給は行いません）。

(3) 「履歴書」「研究業績目録」「応募必要事項記入用紙」の別紙様式A4版は、人間文化研究科ホームページからダウンロードして下さい。

(4) 本学では男女共同参画を推進しており、教員の採用、昇任においては、業績と能力が同等であるならば、女性を積極的に採用し、昇任させます。

(5) 本学は敷地内禁煙を実施しており、教職員には、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

(6) 本学の教員の定年は、満65歳です。